

第2回 坂出市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

日時：令和2年2月18日（火）14：00～

場所：坂出合同庁舎4階 会議室

<会議次第>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委員紹介
4. 事務局説明
5. 委員意見
6. 閉会

<出席委員>

13名（2名欠席）

<事務局からの説明>

- 1) 本市産業の課題を2つに分けて考える
 - ① 地域の経済発展に関する課題
⇒ 地域の持続性を高める地域産業のあり方
 - ② 中小企業個社の発展における課題
⇒ 中小企業が成長、発展するための方策
- 2) 「①地域の経済発展に関する課題」について、本市産業の地域経済循環分析を行った結果、本市が取り組んでいる「健幸のまちづくり」と関連付け、
本市の強みである医療・福祉を軸とした「ライフ関連産業」の育成を目指すのはどうか。

<委員意見>

- ・産業振興の方向性には賛成。
振興産業については、市場を域内（坂出市）のみに限るのではなく、域外市場も視野にいれるべきである。
- ・産業振興の方向性には賛成。
医療・福祉という業種は、社会保障制度の変更等の社会情勢の影響を受けやすく、現在の強み（医療機関の集積等）が、将来にわたって維持できるとは限らないため、その対策を考える必要があるのではないか。
- ・産業振興の方向性には賛成。
中小企業・小規模事業者自身が市の方向性と自社事業を関連付けながら成長を図っていく努力が必要である。
市民が健幸なライフスタイルを続けることができる環境づくりにも寄与したい。
- ・産業振興の方向性には賛成。
近隣他市が同様の取り組みを始めたとしても、それらに規模で負けないような独自性を考え

るべきと考える。また、「健幸のまちづくり」が、若い世代が坂出で住みたいと思えるような坂出の魅力につながるような工夫が必要ではないか。

- ・ 支援資源は有限であることから、地域特性を生かした産業振興は評価すべき。
坂出の明確な強みを生かした方向性は良いと思う。未病段階においても事業の展開が期待できる。また、県平均と比べて健康寿命が短い、という坂出市の地域課題解決にもつながる。
- ・ 坂出には公立を含め、大きな病院が3つあることから、それらを生かした産業振興の方向性には賛成。
特定分野の産業を地域でいかに育てていくかについて考える必要がある。医療クラスター（医療機器・福祉機器の製造等）を育成するという案も考えられる。
- ・ 産業振興の方向性には賛成。
ライフ関連産業は様々な分野に広がる可能性があるものである。テーマを掲げるだけでなく、新しいアイデアを具現化していくことが重要である。
- ・ 地域経済における大企業への依存度が高いことが分かった。地域産業の育成を通して、地域の自立性を高める必要がある。
- ・ 産業振興の方向性には賛成。
「健幸」というテーマ、またライフ関連産業は、多様な業種が関与できる裾野の広い産業である。しかし、域内市場のみならず、域外から稼ぐ視点も意識して産業振興を図るべきである。
- ・ 中小企業個社が抱える課題については、次回以降の会議で市内の各業種の問題を抽出し、取り組むべき施策を議論していく必要がある。また、市の魅力向上につながる施策は何なのか、ということも踏まえて議論するべきである。